OKAZAKI HYAKKEI

市制施行100周年記念

岡崎百景

私とまちの100のドラマ

市制100周年の節目に、次世代に伝えたい「岡崎の今」を表す景観を市民の手で選定しようとスタートした「岡崎百景」。平成26年10月の「百景推薦人」の募集から約2年が経過し、総勢83名の推薦人一人ひとりの愛着や思い入れの詰まった122の景観の中から、1,497人の市民投票を経て岡崎百景がついに決定しました。あなたにとっての「大切なあたりまえ」を問いかける『私とまちのドラマ』をお楽しみください。

推薦人リスト［番号は推薦人のエントリー順］

1	荻野幸子	32	天野光敏	71	堤久子	99	梅村篤志
2	大久保玉恵	33	浅井朋親	72	河内直樹	100	山田美代子
3	岡本志津子	34,35	杉浦仁美	73	長尾晴香	101	鈴木義明
4	小玉公明	36,37	平松はやみ	74	蜂須賀博英	102	中山園美
5–7	カルマンGT	38–40	5本目の団子	75	柴田昌代	103	舟頭・白井宏幸
8	山本達也	41,42	小野富秋	76	加藤八郎	104–108	かめ
9,10	熊谷一哉	43–45	吉田修	77	山田健治	109	加藤祐司
11,12	伊藤巍	46,47	竹本佳恵	78	天野めぐみ	110,111	松應寺横丁まちづくり協議会
13	三橋美千子	48	柴田光康	79	三原裕之	112	小川秀雪
14	渡会襄一	49	中根りえ	80	伏見歴堂	113	大須賀康親
15	井坂勝美	50	シェーカーマン	81,82	板坂英幸	114	里山一石・市川浩史
16	小島寛行	51,52	小竹央朗	83	はな子	115	水谷学
17,18	中根郁美	53	岩間千恵	84	見附真悠子	116,117	米津眞
19	町本晴雄	54–56	小林良佐	85	竹内良一	118	鈴木正義
20	石田昇・鳴海忠孝	57–62	いしだひろみ	86–88	夏目安孝	119	冨永恵子
21	鈴木浩	63,64	鶴田真希	89	大須賀久人	120	長谷川伸介
22–25	木村剛也	65,66	カトリーヌ	90,91	よーだ	121	白井みのり＆ニコ
26,27	鈴木徹	67	小田高之	92–94	福岡の織田ざえもん	122	高沢秀昭
28	杉浦友美	68	鈴木円	95	吉橋基喜		
29	上野卓	69	A.シモムラ	96,97	武笠憲子		
30,31	ごま吉	70	織田重己	98	松林康博		

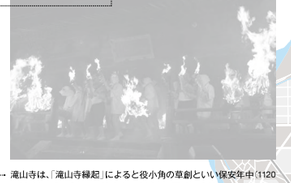
凡例

エントリーナンバー ……18 三河路に春を呼ぶ滝山寺の鬼祭り …… タイトル

日付 2月21日 | 場所 滝町 | 発 共 地 市 気

撮影日

撮影場所



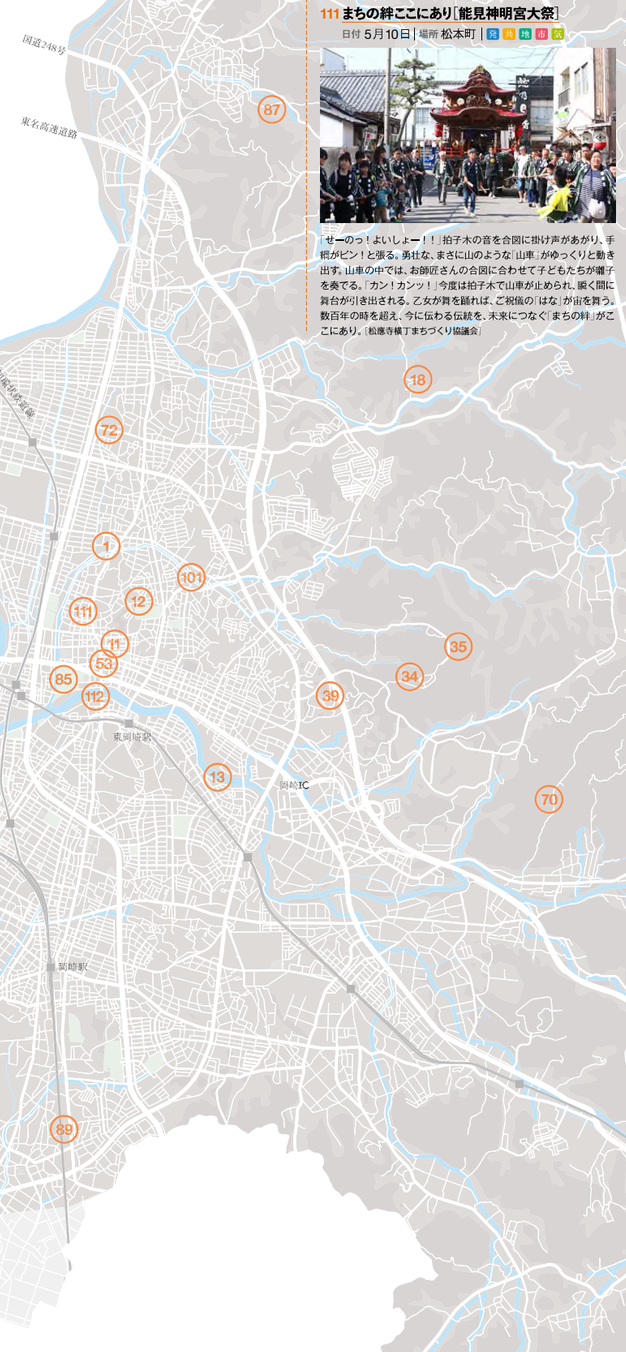
評価軸
- 発…知られざる岡崎→「発」見
- 共…人に伝えたくなる物語→「共」感
- 地…その場所ならでは→「地」域性
- 市…市民が主体→「市」民性
- 気…"あたりまえ"の大切さ→「気」づき

推薦文 …… 滝山寺は、「滝山寺縁起」によると役小角の草創といい保安年中（1120～22）に比叡山の僧・仏泉永救が再興した天台宗の寺院である。本堂は県下最古の木造建築です。天下泰平、五穀豊穣を祈願し勇壮なたい松の見舞で天下の奇祭として有名です。旧暦正月七日に近い土曜日に行われる。県の無形文化財に指定され多くの参観者でにぎわいます。また正面左側には肉付きの面で有名な「鬼塚」があり右側には滝山東照宮が祀られております。未来永劫残したい宝物です。［中根郁美］

2016.7.1 100th ANNIVERSARY OKAZAKI 岡崎市制施行100周年

100 岡崎百景 OKAZAKI HYAKKEI

→→→→→→ 百景それぞれの詳細はこちら［岡崎市HP］



岡崎百景 | 1-20［撮影日時順に掲載しています］

4 次代に引き継ぎたい自然と風景［北山湿地と里山風景］

日付 4月 | 場所 池金町 | 発 地 市 気

ウサギ追いしかの山、コブナ釣りしかの川「人と自然が共に暮らすところ」。日本特有の景観を呈し、日本人のふるさとの景色を形成してきた「里山」は、ここ岡崎でも近年その風景が少なくなってきました。そんな「里山」の中にある「北山湿地」は日本の重要湿地500にも選定されている、生物多様性豊かな湿地です。人々と共生してきた自然環境は、先祖から受け継いだ歴史的な自然遺産として、後世に継承すべき「岡崎の宝」です。［小玉公明］

20 古代のロマンあふれる大友皇子古墳と史跡群

日付 5月5日 | 場所 小針町 | 発 共 地

西暦672年、壬申の乱で大海人皇子（後の天武天皇）に敗れた天智天皇の長子・大友皇子は、ひそかに大津を逃れ、岡崎の大友（丸薮之郷）に移り住み、小針の地に葬られたという伝承があります。大友皇子古墳（小針町）の近くには大友天神社（西大友町）や神明社・皇子御陵碑・皇子館跡（東大友町）等の史跡群が点在しています。歴史ある岡崎の地で、万葉時代のロマンあふれる大友皇子古墳とその史跡群を訪ねてみては如何でしょう。［石田昇・鳴海忠孝 ＊私有地の為、公開日制限あり | 公開日：日曜日 | 駐車場：小針研修センター（小針町神田）］

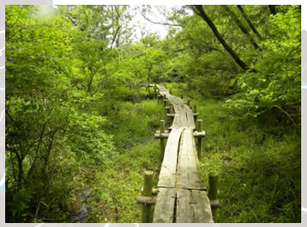
111 まちの絆ここにあり［能見神明宮大祭］

日付 5月10日 | 場所 松本町 | 発 共 地 市 気

「せーのっ！よいしょー！！」拍子木の音を合図に掛け声があがり、手拍子に「と張る。勇壮な、まさに山のような「山車」がゆっくりと動き出す。山車の中では、お師匠さんの合図に合わせて子どもたちが囃子を奏でる。「カン！カンッ！」今度は拍子木で山車が止められ、瞬く間に舞台がりき出される。乙女が舞を踊れば、ご祝儀の「はな」が宙を舞う。数百年の時を超え、今に伝わる伝統を、未来につなぐ「まちの絆」がここにあり。［松應寺横丁まちづくり協議会］

70 メダカやトンボが群れる再生湿地［自然観察の里］

日付 6月14日 | 場所 小美町 | 発 地 市 気



山の中の放棄されて荒れ果てた休耕田が、ボランティアの手により整備され、湿地状態に復元されています。場所は中央総合公園の一角にある自然観察の里。昨今の水田は、米を作った後に麦や大豆を作る転作が行われるため、水生動植物が持続的に生きながらえることができません。1年中水の溜まる場所や湿地帯を作り出したことによって、メダカ・ドジョウ・カエル・トンボ・ホタル・山野草など多くの生き物の楽園となっています。［織田重己］

1 身も心まで清まる、尊い神聖な伊賀八幡宮

日付 7月22日 | 場所 伊賀町 | 発 共 地 気

合掌　四季を通じて素晴らしいですが、7月の始め頃の早朝、蓮の花が咲く頃がおすすめです。まさに地上天国です。日常生活の苦しみや悩みを癒してくれます。心のよりどころとして、後世に国の重要文化財を伝えたいです。天下統一を成し遂げ、泰平の世の礎を築いた徳川家康公を敬うとともに、先祖への報恩感謝の御供養を通じて、一人でも多くの人々のお役に立てますように祈らずにはおれません。［萩野幸子］

101 伊賀川の川まつり

日付 7月22日 | 場所 稲熊町 | 共 地 市 気

小学校の夏休みが始まった7月の日、毎年恒例となっている「伊賀川を美しくする会」による川まつりが開催される。約2万匹の金魚が伊賀川の各所に放たれる。待ってましたと、子ども達が川に入り金魚を追う。昭和の頃には当たり前だった川遊びも近頃は限られた日であるが子どもたちの貴重な体験の場となっている。川岸がコンクリートと変貌し、川に降りられる場も少なくなってしまったが、桜と岸部のある風景は、いつまでも残していってほしい。［鈴木義明］

41 六ツ美悠紀斎田お田植えまつり

日付 6月7日 | 場所 中島町 | 発 共 地 市 気

大正天皇の大嘗祭にお米を献上するための斎田で、毎年お田植えまつりが6月第一日曜日に行われます。平成27年のお田植えまつりには、100周年を記念し、秋篠宮同妃殿下にもご臨席いただき、多くの方に見ていただきました「お田植え」や「お田植えおどり」は、100年前のおどりや唄を引継ぎ、行われており、市の無形民俗文化財にもなっています。初夏の風物詩として、見に来てください。［小野富秋］

112 菅生神社菅生祭鉾船神事奉納花火

日付 8月1日 | 場所 康生町 | 発 共 地 市 気

毎年8月の第1土曜日に岡崎市の観光花火大会が行われます。その折、仕掛花火が行われるすぐ横の菅生川河川上に2船の鉾船が浮かべられます。提灯等で飾られた鉾船はそれ自体大変美しく悠久の歴史を感じさせます。この船の上で催行される花火大会が菅生神社菅生祭鉾船神事奉納花火です。幼少の頃は鉾船に乗船し花火をあげた記憶がありますが、今は大人しか乗船できません。是非とも後世に伝承したい伝統文化だと思います。［小川秀雪］

34 岡崎の大正池［小呂池］

日付 8月12日 | 場所 小呂町 | 発 共 地 気

大正池を思い起こされる立ち枯れの木々が生えている小呂池。小呂池付近は豊かな自然に恵まれ、岡崎野鳥の会が主催してみえる東公園探鳥会のゴールにもなっております。池の中の立ち枯れの木々・周りの自然を楽しみながら、カワセミやアオゲラ、アカゲラ、ノスリといった猛禽類やトラツグミ、ルリビタキ等々、1年を通して沢山の野鳥にも出会うことの出来る環境を、次世代にも残して行きたいものだと思います。［杉浦仁美］

35 サギゾウに出会う［小呂湿地］

日付 8月12日 | 場所 小呂町 | 発 地 気

小呂池から道根往還を東に向かいしばらく道沿いに歩いたところに小呂湿地まで300mの標識があります。岡崎では北山湿地が有名ですが、この小呂湿地も貴重な自然です。現在、小呂湿地への立ち入りは制限されている様子ですが、自然観察等の目的での訪問は「おかざき湿地保護の会」等に相談されると良いかもしれません。特に夏には、サギゾウの群生を見ることも出来、次世代に残していきたい岡崎の宝です。［杉浦仁美］

39 思い出の積層［東公園］

日付 夏 | 場所 欠町 | 共 地 市 気

たくさんの動物に出会える東公園で、一番好きなのは象のふじ子だ。一皿百円の「ふじ子のおやつ」を買ってあげるのが子どもの頃からの楽しみになっている。子どもの目ではちょっとした丘ほどに見えたふじ子も、大人の目ではこぢんまりと見える。けれどふじ子と過ごす時間は、昔と変わらない大切な時間だ。子どもの頃からの楽しい記憶が積み重なる東公園。未来に生きる子どもたちにも、楽しい思い出を作ってほしい。［5本目の団子］

85 凛としてそびえ立つ岡崎城天守閣

日付 8月23日 | 場所 康生町 | 発 共 地 市 気

秋分の日、笠雲あかね色に染まる時がよい。蒲郡に生まれ、東京、大阪に移住、城の見える母の実家近くに永住をと思い、宇頭を始めに、矢作、福岡、上地と住み、我が街「三河武士」のふるさとに蘇る。東海道きっての名城、岡崎市のシンボル、家康公ゆかりの史跡も多く、桜、藤、つつじが周辺を彩り、観しみながら偉人の足跡が偲ばれる。城の周辺は昔の町並みを残し、モデルコースとして観光案内の充実を計り、大切に末永く伝えたい。［竹内良一］

89 岡崎南部最大級のお祭り上地八幡宮例大祭

日付 11月1日 | 場所 上地町 | 発 共 地 市 気

岡崎最古の社殿建築の上地八幡宮はお祭りもスゴイ！ 11月の第1日曜日とその前日の2日間に開催される例大祭は、関係者だけでも延べ500人以上。土曜日の前宮祭では、小学生・中学生・高校生の舞の競演に加え、勇壮な太鼓の演奏に神輿の宮出しと盛り沢山！本宮祭では、泰平祈願の神事と共に、3基の神輿が気合いの練り込み。夕暮れには手筒花火と爾玄な浦安舞！数千人の参拝客で賑わうこのお祭りは神と人とのつながりの景観です。［大須賀久人］

53 みんなでスウィング♪岡崎ジャズストリート

日付 11月8日 | 場所 康生通東 | 市

秋色が深まる11月。岡崎の街がジャズに染まる2日間があります。「岡崎ジャズストリート」は公園、お寺、こんなところで？と思うような建物の中で、JAZZ♪jazz♪ジャズ♪プロ、アマチュアミュージシャン、延べ300名以上が、岡崎に集結する。ジャズ街岡崎が全国に誇る一大イベントです。ジャズが好き、街が好き、人が好き、そんなサポーターが、あなたを待っています。岡崎で、一緒に、スウィングしましょう！［岩岡千恵］

72 南の門の真ん中に岡崎城も絵のような♪［ビスタライン］

日付 11月21日 | 場所 鴨田町 | 発 共 地 気

私が通っていた大樹寺小学校の校歌にタイトルの言葉があり、今でも歌えます。小学生だった頃、この運動場で元気よく友達と走り回っていた事を懐かしく思います。「ビスタライン」の意味を知ったのは大人になってからですが、家康公の話はよく聞かせてもらいました。岡崎は近すぎるほど身近に、歴史と伝統があり、気づかず過ごしてしまうことが多いのですが、今思えば多くの先人の御加護を頂いている場所だと、ありがたく思います。［河内直樹］

12 子供の頃の思い出 石づくりの六供配水塔！

日付 11月30日 | 場所 六供町 | 発 共 地 気

小学校低学年の頃、岡崎市内を3度転居しました。2度目の転居の場所が六供の配水塔（当時は、浄水場と言っていました）の近くでした。昭和23年（1948）頃だと思います。当時は、周りには何もなく、見上げると青空に巨大な石づくりの塔がいつも僕を見ていました。浄水場は、中に貯水場があり、周りは白砂に覆われた砂場が広がっていました。石づくりの塔には、蔦が一面にまとわりつき、夏は青々と、秋は紅葉し、雄大な円形の塔の姿があります。日本中探してもこんな配水塔はないと思います。［伊藤巍］

11 二七市、私のず～っと残しておきたい「日本の原風景」

日付 12月31日 | 場所 八幡町 | 発 共 地 市 気

旅に出るとそこには、日本の朝市があります。古から線々と続いている日本の原風景、私は、朝早く起きて出かけます。飛び交う方言、その土地特有の野菜や果物、漬け物、土産物等、特に相対している店主との会話が楽しみです。こうした原風景を私は、地元に今ある二七の朝市をず～っと残しておきたいのです。今年60周年を迎えた二七の朝市は、戦後岡崎の商店街の歴史でもあり、今はお爺ちゃん、お婆ちゃんの生活、心の糧でもあります。［伊藤巍］

18 三河路に春を呼ぶ滝山寺の鬼祭り

日付 2月21日 | 場所 滝町 | 発 共 地 市 気

滝山寺は、「滝山寺縁起」によると役小角の草創といい保安年中（1120～22）に比叡山の僧・仏泉永救が再興した天台宗の寺院である。本堂は県下最古の木造建築です。天下泰平、五穀豊穣を祈願し勇壮なたい松の乱舞で天下の奇祭として有名です。旧暦正月七日に近い土曜日に行われる。県の無形文化財に指定され多くの参観者でにぎわいます。また正面左側には肉付きの面で有名な「鬼塚」があり右側には滝山東照宮が祀られております。未来永劫残したい宝物です。［中根郁美］

13 菱桜と彼岸花の咲くふる里

日付 3月15日 | 場所 東明大寺町・大西町 | 発 共 地 市 気

2001年1月、21世紀の幕開けを記念して、市民がボランティアで植え育てた岡崎の新しい花の名所です。竜美丘会館裏の乙川堤防に遥か彼方まで続く桜並木は、一年を通して楽しめる市民の憩の場所となりました。秋にも賑わいをと2009年から桜の下に植えた彼岸花。百万本の花で埋め尽くされた光景は乙川の流れと共に圧巻です。市民が力を合わせて創った美しいふる里。誰もが自然に笑顔になれる景観を、いついつまでも大切に守り育てて行って欲しい。［三橋美千子］

87 1300年村人を見続けた奥山田のシダレザクラ

日時 3月30日 | 場所 奥山田町 | 発 共 地 市 気

1300年前に、持統天皇の御手植えといわれる奥山田のシダレザクラは、永い間、山里に春の訪れを告げてきたエドヒガンザクラのしだれ桜です。地元の方々の保存活動で、柱で枝が支えられ樹高が17mもあり、淡い紅色の花が流れ落ちるように咲く姿は圧巻です。岡崎に住んで最初に見に行った桜です。いつまでも地元の人々に愛され続け、春の訪れを多くの人に告げて欲しいものです。［夏目安孝］

岡崎市都市整備部都市計画課
〒444-8601愛知県岡崎市十王町二丁目9番地
TEL 23-6263 | FAX 23-6514 | E-mail toshikei@city.okazaki.lg.jp
発行 平成28年10月 | 企画 岡崎まち育てセンター・りた
［製作］編集：榊原充大 | デザイン：西村拓一（rimishuna

© OpenStreetMap contributors